

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●小牧加矢太騎手が国民スポーツ大会連覇

9月29日(月)、小牧加矢太騎手(栗東・フリー)が第79回国民スポーツ大会の馬術競技・障害飛越「成年男子ダービー」に出場して優勝、2024年の第78回に続く連覇を果たしました。また池添学調教師(栗東)は「成年男子馬場馬術」に出場、2024年の第8位を上回る第4位という結果でした。なお第78回大会の開催地は佐賀県、第79回の開催地は滋賀県ですが、馬術の競技会場はいずれも兵庫県の三木ホースランドパークでした。

●ミルコ・デムーロ騎手が米重賞初制覇

この夏からアメリカに遠征しているミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)は、現地時間10月5日(日)、サンタアニタパーク競馬場で行われたサーファーガールS(G3/芝1,600m)でブレイブデブ(牝2歳)に騎乗して1着となりました。アメリカでの重賞勝利は自身初のことです。

●来春の新人騎手デビューはなし

2026年度の新規騎手免許試験および調教師免許試験・第一次試験の合格者が発表されました。騎手免許試験の合格者はなしで、これにより来春デビューする新人騎手は0人となります。調教師免許試験の合格者は14名で、12月に第二次試験を経て最終合格者が発表されることとなります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ナルカミがジャパンダートクラシックでナチュラルライズの三冠を阻止

ジャパンダートクラシック(JpnI、3歳、10月8日、大井、2,000m)は、逃げた3番人気のナルカミ(戸崎圭太騎手、牡、父サンダーズノー)が、追いつがる単勝1.9倍で1番人気のナチュラルライズを3馬身突き放し、不來方賞から重賞を連勝。2番人気のルクソールカフェは更に9馬身遅れの3着、ハグは4着、クレーキングは5着、アドマイヤデイトナは9着、ドンインザムードは11着でした。

●レディスプレリウド(大井)は初ダートのビヨンドザヴァレー

レディスプレリウド(JpnII、10月7日、大井、1,800m)は、5番手を進んだ5番人気のビヨンドザヴァレー(菱田裕二騎手、牝5歳、父イスラボニータ)がゴール寸前で差し切り勝ち。大きく出遅れた単勝1.8倍で1番人気のテンカジョウはクビ差の2着、バスタードサフランが3着に入り、逃げたタクシンイメルは8着、3番人気のアンモシエラは9着に敗れています。

●地元馬ブラウドフレールがマリーンC(船橋)を逃げ切る

マリーンC(JpnIII、3歳牝馬、10月2日、船橋、1,800m)は、先手を取った5番人気の船橋所属馬ブラウドフレール(張田昂騎手、父ニューイヤーズデイ)が、単勝1.6倍で断然人気のメモリアカフェに3馬身差を付けて楽勝。2番人気のプロミストジーンは3着、3番人気のクリノメイは9着、サヴォンリンナは最下位の10着でした。

●10月13日の南部杯にシャマル、サンライズジバングらが参戦

マイルチャンピオンシップ南部杯(JpnI、10月13日、盛岡、1,600m)は、JpnI連勝のシャマル、フェブラリーS2着馬サンライズジバングが双璧、以下ペプチドナイル、イグナイター(兵庫)、ウィルソンテソーロ、クラウンプライド、リメイクの順に有力視され、芝のGII3勝馬シックスペンスは初のダートが課題となります。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1凱旋門賞〜ダリズがG1初制覇

現地10月5日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG1凱旋門賞(3歳上牡牝、芝2,400m)は中団の内でレースを進めた地元フランスのダリズ(牡3歳)がG1英オークス、G1愛オークス、G1ヨークシャーオークスと連勝して臨んでいたアイルランドのミニホークをゴール前でアタマ差かわして優勝しました。3頭が挑んだ日本調教馬はビザンチンドリーム(O.マーフィー騎手)の5着が最先着。クロワデュノール(北村友一騎手)は14着、アロヒアライ(C.ルメール騎手)は16着に終わりました。

勝ったダリズは父が2009年の凱旋門賞馬シーザスターズ、母がG1香港ヴァーズ優勝のダリャカーナで、半兄にはG1ガネー賞の勝ち馬ダリヤンがいる良血。今年4月のデビュー勝ちから4連勝で6月のG2ウジェーヌアダン賞(芝2,000m)を制して重賞初制覇。その後、8月のG1英インターナショナルSは最下位6着に終わりましたが、続く前走9月のG3ブランズドラングジュ賞では鋭い末脚を見せクロワデュノールの短アタマ差2着に入っていました。管理するF.グラファール調教師、騎乗したM.バルザローナ騎手はともに初制覇です。